

## 2021年度 革新的製品創出サロン

と き：2021年7月28日（水）15:00～18:30

参加方法：①会場（中部生産性本部セミナールーム）

②オンライン（Zoomミーティング）

15:00～15:10	事務連絡
15:10～16:20	<p><b>カーボンニュートラル</b> 講演（質疑・意見交換 20分程度） <b>「2050年カーボンニュートラルに向かう世界と企業」</b> 東京大学 未来ビジョン研究センター教授 高村ゆかり 氏</p> <p>総論では、1997年COP3の京都議定書→2015年のパリ協定（トランプ大統領が離脱させバイデン大統領が復帰させた）→菅首相が昨年10月に宣言した「2050年カーボンニュートラル」の一連の流れの中で、国内の温暖化ガスの排出を2050年までに「実質ゼロ」とする方針となった経緯と、実際に大きく変貌を遂げつつある世界の中で日本の立ち位置を振り返り、社会全体～交通ビジョン～自動車産業～製造方法の全過程にわたり、どんな影響があるかを、東京大学の高村先生からお伺いします。</p>
16:20～16:30	休憩
16:30～17:40	<p>講演（質疑・意見交換 20分程度） <b>「脱炭素社会を生き抜くために、ものづくり企業に求められることとは」</b> ㈱ウェイストボックス 代表取締役 鈴木修一郎 氏</p> <p>各論では、企業とくにもものづくり企業は具体的に何をなすべきかに焦点を当てます。カーボンニュートラルの尺度で見れば、従来は善とされてきた軽量化の代表技術であるCFRP材料やホットスタンピング製法なども、製造から使用に至るサプライチェーン全体の炭酸ガス等の発生を考慮すると再吟味が必要とされています。それでは、ものづくり企業にはいったい何が求められ、何ができそうなのか、WAISTBOX社の鈴木社長より、具体的な算出支援事業の実績を通じてお伺いします。</p>
17:40～17:50	休憩
17:50～18:10	<p>自社紹介 兼房㈱ 研究開発部部长 中村 洋 氏</p>
18:20～18:30	事務連絡、終了（終了後に表示されるアンケートにご協力願います）

個人情報の取り扱いについては当本部HP個人情報保護方針を御覧ください。  
本資料記載事項の無断転載並びに本サロンの撮影・録音・録画はお断りします

講演

15:10~16:20

講演 15:10~16:00  
質疑応答 16:00~16:20

## 「2050年カーボンニュートラルに向かう世界と企業」

東京大学

未来ビジョン研究センター教授 たかむら 高村 ゆかり 氏

### 《プロフィール》

- 1989年3月 京都大学法学部卒業
- 1992年3月 一橋大学大学院法学研究科修士課程修了
- 1997年3月 一橋大学大学院法学研究科博士課程単位修得退学
- 1998年4月 静岡大学人文学部法学科助教授
- 2004年4月 龍谷大学法学部助教授
- 2006年4月 龍谷大学法学部教授
- 2011年4月 名古屋大学大学院環境学研究科教授
- 2018年6月 環境保全功労者表彰（環境大臣表彰）
- 2018年10月 東京大学国際高等研究所サステイナビリティ学連携研究機構教授
- 2019年4月 東京大学未来ビジョン研究センター教授
- 2020年10月 第25期日本学術会議副会長

講演

16:30~17:40

講演 16:30~17:20  
質疑応答 17:20~17:40

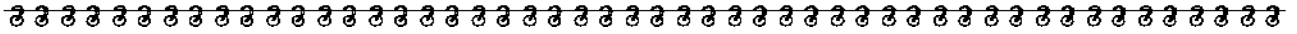
「脱炭素社会を生き抜くために、  
ものづくり企業に求められることは」

(株)ウェイトボックス 代表取締役 <sup>すずき</sup>鈴木 <sup>しゅういちろう</sup>修一郎 氏

《プロフィール》

1975年9月1日生まれ  
早稲田大学教育学部卒業  
大学卒業後、名古屋の興和㈱に入社し主に繊維関係の輸出入業務を行う。  
その後数社を経たあと、東京の環境ベンチャー㈱リサイクルワン（現レノバ）に入社し、主に不動産等における環境デューデリジェンス業務を担当。  
その後2006年に独立し、㈱ウェイトボックスを設立し現在に至る。  
なお、㈱ウェイトボックスは”環境と経済の両立、資源循環の推進”をコンセプトに、CO2排出量の調査を主力事業としている。

17:50~18:10



# 「 自 社 紹 介 」

<兼房株式会社>

